

市民・
ネットの会

反対

下水道事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業特別会計決算には賛成しますが、一般会計決算と国民健康保険事業特別会計決算について反対します。

▽経常収支比率は年々上昇し、財政の硬直化が進み、23年度から地方交付税交付団体に、24年度には臨時財政対策債の発行など厳しい財政状況です。大型事業の展開による、将来世代への負担が懸念されます。

▽東西一体のまちづくりの接点である海老名駅自由通路に、設置と維持に多額な費用を要する動く歩道を設置すること、類似した施設の大規模化にすぎない市民活動支援施設の建設事業などには市民合意がなされていません。保護者の理解が得られずに、白紙撤回となった門沢橋保育園の建て替え事業は待機児童対策として、食の創造館事業はアレルギー対応や保護者が望む中学校給食を実施すべきです。▽少子高齢社会が進行する中、多様な働き方をサポートする子育て支援事業、地域で高齢者や障がい者を支える包括支援サービスを市民と共に構築していくことを優先すべきです。



防災機能が強化された
東柏ヶ谷近隣公園
(仮設トイレ)

詳しい内容は
会議録で

9月定例会の会議録を作成中です。次回定例会開催までには市役所1階の情報公開コーナーや中央図書館で閲覧可能となりますので、ご利用ください。市のホームページでも見ることができます。

日本共産党

反対

下水道事業特別会計決算には賛成しますが、一般会計決算とその他3特別会計決算には反対します。

▽中学3年生までの所得制限なしでの医療費無料化や住宅リフォーム助成制度の継続、少人数学級・指導の推進や各種支援制度の充実、外注弁当方式ではありませんが、中学校給食の全校実施が引き続き進められたことなどへの市の取り組み姿勢を大いに評価します。▽国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料が値上げされました。国保加入世帯は保険料を払いたくても払えず滞納し、必要な医療から排除される危険に直面しています。市民生活を守ることは市の大きな責務と考えます。後期高齢者医療制度は、高齢者への際限ない負担増加と世代間の分断をもたらす仕組みであり、廃止すべきと考えます。▽海老名駅西口開発事業では、農業と自然環境および海老名駅東口を含めた市内商業への影響、市内道路の渋滞などの問題が深刻化する恐れがあります。巨額の公費支出と市債発行を伴う大型開発は進めるべきではありません。

議員研修会を開催

7月2日、今年4月に「災害時における相互応援に関する協定」を結んだ茨城県桜川市と那珂市に視察研修のため伺いました。両市とも東日本大震災の災害時の対応と震度6弱の地震発生時の様子や水道、電気などのライフラインが寸断された被害状況などの説明を伺いました。

その後、桜川市では市内の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている真壁地区にある登録文化財の建物の被災状況を視察しました。地震発生から2年経過した今も修復工事が行われておりました。

また、那珂市では独立行政法人日本原子



力研究開発機構の核融合研究所を視察しました。ここは、核融合エネルギーの研究開発が行われ、「地上の太陽」を実現するため、世界最先端の研究開発を進め、世界の中心的研究拠点となっている施設です。

今後も両市と情報交換などの交流を深めていくことはもちろんのこと、災害発生時の様々な課題への対応、復興は、地域住民が納得できる政策が重要であることなど、今回の視察は大変有意義な中で終了いたしました。